

山川東部保育園における自己評価（令和4年度分）

発行：令和5年5月

	評価項目	総評（意見・改善策）
保育計画に関する評価	保育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育目標の設定については、子どもたちの年齢や発達状況、興味関心を踏まえた実態に沿った目標を設定している。また、計画・実践・評価・改善を行って、更なる充実を目指した設定になるように努めている。 ・保育目標の評価については、職員会議等で達成状況の確認や検討を重ねて、次年度に繋がるよりよい改善案を提案できるように努めている。 ・子ども一人ひとりの保育目標達成については、保育の過程と育ちの様子が捉えられるように、0歳児から5歳児までのそれぞれの過程で、発達を捉える視点を設定して、職員が育ちを系統的に捉えるように工夫している。
	保育	<ul style="list-style-type: none"> ・未満児は、散歩や外遊びを多く取り入れ、体力向上に努めている。 ・年長児と年中児は、体力向上及び集団遊びのルール、規律の大切さが、身につくように体育あそびを重視している。そして、年2回の市教育委員会主催の幼児体力測定を実施しながら、成長を確認している。 ・年長児は、目標に向かって最後まで粘り強く努力することの大切さを学ぶ活動(ダンス、鼓笛)を毎年取り入れている。 ・アクシデント報告も毎日報告し、毎月の集計と検証を行う。また、危険箇所については、点検と改善を行い安全安心な環境づくりに努めている。
	行事	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事の中止、延期、縮小、内容変更を行って実施した。 ・毎月の誕生会では、ゲームやアトラクションなどを、クラス単位のグループで行い、子どもたち同士の楽しい顔見知りの交流の場になっている。 ・運動会は、年少児以上以上の2クラスで行い、参観は両親のみで行った。また、祖父母会の内容と日程を変更して、年少児以上で各クラス別に運動会の種目を祖父母の皆さんに披露した。 ・勤労感謝の日になんで、市役所、農協、駐在所、郵便局に子どもたちの手作りの「飾り物」を贈った。好評で今後も取り入れていきたい。
保育計画を支える諸条件に関する評価	体制・分掌	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の担当年齢クラスや職務内容毎に、リーダー等の役割を明確にしたことで、保育の充実や協働できる意識などが確立している。 ・早番及び延長保育時間帯を2名で担当する様にしているので、保護者対応や連絡調整が確保できている。また、園児の安全を守ることもできている。 <p>△分掌については、適材適所及び負担軽減を考慮した取り組みを行い、更なる健康・安全の確保と保育の充実を目指し、協働できる体制づくりに努める。</p>
	運営	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議では、園長が提案内容や時間配分を事前に検討する。司会は主任保育士が担当し、記録を毎月輪番制にしている。また、アレルギー対応委員会や職員研修の内容も報告を行っている。職員会議後、記録内容を参加できていない職員にも閲覧して周知に努めている。
	年齢別・クラス運営	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢による子どもたちの特長を捉え、個々の特長を生かしながらも支援するクラス運営ができるように保育士同士の意識の向上に努めた。 <p>△異年齢の園内保育での交流は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにできていませんが、園外保育では、散歩など異年齢クラスで行った。</p>
	健康安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ等の感染予防は、園児の手洗い消毒の励行と年少以上の園児には、マスクを着用させた。また、保護者に対しては、連絡帳や園メールで、迅速に情報提供し、拡大防止に努めた。そして、知り得た県・市の健康に関する情報も速やかに提供した。 ・職員においては、職朝で園児の欠席状況、健康状態、送迎バス利用状況等について確認し、各クラスの情報を共有している。
	園内外研修	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修では、事例にもとづく課題解決の方法が紹介されたり、園外研修会(保育士等キャリアアップ研修分野別、Eラーニング)の内容が紹介されたりすることから、職員相互の保育内容を振り返る良い機会になり、職員の意識改善や自己啓発に繋がり、職員のスキルアップになっている。
	情報	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスや給食に係わりある各書類等が、年度別に適切に処理されている。また、園長による点検を行い、年1回の指導監査に向けての準備と保管を行っている。 ・園専用PC8台及び、栄養ソフトを増設し、各帳簿の整理等の効率化を図っている。このことは、職員の負担軽減になっている。また、個人情報漏えい防止のため、PCの使用は園内で行うようにしている。
	施設・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・更に、園生活を健康で安全にするために、除菌用設備や防犯カメラを増設した。 <p>△老朽化したフェンス(市所有物)の取替設置を計画している。</p> <p>・本園舎を土砂災害特別警戒区域指定に伴い、平成30年1月4日に、旧山川東部小学校跡地(わんぱく広場)に移転した。・新園舎(敷地面積 3,613 m²、延面積 975.68 m²) ・旧園舎(解体完了日：平成30年1月31日)</p>

	評価項目	総評（意見・改善策）
保育計画を支える諸条件に関する評価	家庭・地域との連携	<p>△新型コロナウイルス感染拡大防止のため、高齢者施設慰問や地域行事の中止が殆どだった。高齢者施設(あぐりの郷8月、やまびこ9月)等。地域行事(敬老祭9月、福祉フェスタ11月)等。</p> <p>※早く、新型コロナウイルス感染が終息し、年長児の普段から培っているダンスや鼓笛を披露し、多くの人たちに歓びと感動を与えられるようになることを期待している。</p> <p>※地域に年間行事計画を配布して、理解と協力を得られるように努めたい。また、地域の施設を活用した活動を行い「もの、こと、ひと」との交流を深め、地域との関わりを広げていきたい。</p>
	子育て支援の推進	<p>・平成27年度から、一時預かり保育事業を開始している。親元(里)で出産する機会に、子どもを一時的に預かる傾向が多くなっている。</p> <p>△園行事への参加を呼びかけて、ふれあいの機会から子育ての支援を推進に努める。また、保護者の子育てに関する相談に応じ、不安を和らげるように努めている。</p>
	情報発信	<p>・ホームページの更新や内容の見直しを行いながら、園だより、クラスだより、給食だよりなどを毎月配布し、園の理念・方針・目標を周知し、共有している。</p> <p>・メール発信する際の重要文書については、個人情報保護のためメールロックに努めている。また、感染に伴う自宅待機指示等の緊急事態に対応するための園メールが効果を上げている。</p> <p>△保護者には、送迎時の連絡や連絡帳を通して、園児の園での様子を伝えるように努めているが、地域(保護者等)に苦情相談件数について、公開できるように努める。</p>
給食に関する評価	衛生管理	<p>・衛生管理点検は、毎日、衛生チェックを行っている。特に、貯水槽清掃は、年1回業者が行い、水道水の塩素濃度は、園長が毎日2回実施している。</p> <p>・調理室、保育室、トイレ、手洗い場等では、消毒と清掃に努め、特に、コロナ感染拡大防止のため、玩具、テーブル、椅子、床のアルコール消毒を重視し、適切に衛生管理を行った。</p>
	調理内容	<p>・食材の高騰の最中、献立の内容や食の安全性を考慮して調理に当たった。また、園児への給食提供は、適温での提供を心掛けた。</p> <p>・アレルギー除去食は、医療機関の食物アレルギー指示を基に、保護者やクラス担任との密な連携を取りながら調理している。</p> <p>△その日の献立給食を玄関に展示していたが、不衛生になるため止めている。</p>
	食育	<p>・菜園活動で収穫した新鮮な野菜(プチトマト、キュウリ等)を給食のデザートに利用している。</p> <p>・郷土料理(特産物)、伝統的な食を味わう献立を取り入れている。</p> <p>・以上児クラスでは、年に数回、クッキングを実施し、旬の食材を知る機会をつくり、食への関心を引き出す活動を行った。また、このことから、調理の楽しさ、作ってもらうことへの感謝の気持ちも育てたい。</p>
健康に関する評価	健康管理	<p>・園メールや園だより、クラスだよりで、新型コロナウイルス感染や発症しやすい病気について、予防・状況報告を行い、家庭の協力を得ている。</p> <p>・子どもの健康管理については、全職員が全クラス・全園児の健康状態の情報及び対応を、共有することから、感染症やアレルギーなどの適切な対応に努めている。</p> <p>・特に、アレルギー除去食については、医師、保護者、栄養士、担任との連携を密に行い、毎月、アレルギー除去食委員会を行い、情報を共有している。</p> <p>・コロナ等の感染症が発生した際、クラスの発生状況を、全職員が共有し、園メールで全保護者にその内容と対応を周知している。特に、新型コロナウイルス感染拡大予防には万全を尽くした。</p> <p>・各クラスでの嘔吐物などの処理は、身近にいる保育士が、速やかに園児を遠ざけ、アルコール、次亜塩素酸等を使って適切に処理している。</p>
	事務管理	<p>・園用PCの活用で、事務処理を迅速に且つ適切に処理することで、職員の職務遂行の効率化に繋がっている。また、新たに栄養管理ソフトを購入した。</p> <p>・毎月の職員への給料、業者への支払等の業務は、IT化により効率的に処理している。また、ビジネスバンキングを活用している。</p> <p>・社会福祉法人(資産の総額)変更は、令和4年6月14日に登記した。</p>
建設の評価	新園舎建設に向けての運営	<p>・更に、安全で快適な園生活ができるように、砂場に排便防止用カバーを設置した。また、園舎裏側に園庭を増設した。</p> <p>△園児は、広々とした園舎・園庭でのびのびとした気持ちで生活している。特に、室内(教室、廊下)での生活「静かにする」「歩く」等の基本的な生活習慣を身につけるように努めている。</p>

山川東部保育園における自己評価（令和3年度分）

発行：令和4年6月

	評価項目	総評（意見・改善策）
保育計画に関する評価	保育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育目標の設定については、子どもたちの年齢や発達状況、興味関心を踏まえた実態に沿った目標を設定している。また、計画・実践・評価・改善を行って、更なる充実を目指した設定になるように努めている。 ・保育目標の評価については、職員会議等で達成状況の確認や検討を重ねて、次年度に繋がるよりよい改善案を提案できるように努めている。 ・子ども一人ひとりの保育目標達成については、保育の過程と育ちの様子が捉えられるように、0歳児から5歳児までのそれぞれの過程で、発達を捉える視点を設定して、職員が育ちを系統的に捉えるように工夫している。
	保育	<ul style="list-style-type: none"> ・未満児は、散歩や外遊びを多く取り入れ、体力向上に努めている。 ・年長児と年中児は、体力向上及び集団遊びのルール、規律の大切さが、身につくように体育あそびを重視している。そして、年2回の市教育委員会主催の幼児体力測定を実施しながら、成長を確認している。 ・年長児は、目標に向かって最後まで粘り強く努力することの大切さを学ぶ活動(ダンス、鼓笛)を毎年取り入れている。 ・アクシデント報告も毎日報告し、毎月の集計と検証を行う。また、危険箇所については、点検と改善を行い安全安心な環境づくりに努めている。
	行事	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事の中止、延期、縮小、内容変更を行って実施した。 ・毎月の誕生会では、ゲームやアトラクションなどを、クラス単位のグループで行い、子どもたち同士の楽しい顔見知りの交流の場になっている。 ・運動会は、年長児と年中児の2クラスで、参観は両親のみで行った。また、例年開催している祖父母会の内容と日程を変更して、年長児と年中児のクラス別に運動会の種目を祖父母の皆さんに披露した。 ・勤労感謝の日になんで、市役所、農協、警察、郵便局に子どもたちの手作りの「飾り物」を贈った。好評で今後も取り入れていきたい。
保育計画を支える諸条件に関する評価	体制・分掌	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の担当年齢クラスや職務内容毎に、リーダー等の役割を明確にしたことで、保育の充実や協働できる意識や体制が確立している。 ・早番及び延長保育時間帯を2名で担当する様にしているので、保護者対応や連絡調整が確保できている。また、園児の安全を守ることもできている。 △分掌については、適材適所及び各クラスの負担軽減を考慮した取り組みを行い、更なる保育の充実と協働できる体制づくりに努める。
	運営	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議では、園長が提案内容や時間配分を事前に検討する。司会は主任保育士が担当し、記録を毎月輪番制にしている。また、アレルギー対応委員会や職員研修の内容も報告を行っている。職員会議後、記録内容を参加できていない職員に閲覧して周知に努めている。
	年齢別・クラス運営	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の交流や訪問は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施できていません。 △年齢による子どもたちの特長を捉え、その各々の特長を生かしたクラス運営ができるよう保育士同士の意識の向上に努める。
	健康安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士・栄養士等全ての保育者が、それぞれの専門性を発揮しながら、子どもたちに分かりやすい言葉で健康・安全の指導を行っている。 ・新型コロナ等の感染予防は、保護者に対して連絡帳や園メールで、迅速に情報提供し、拡大防止に努めている。また、知り得た県・市の健康に関する情報も速やかに提供している。 ・職員においては、職朝等で各クラスの情報を共有している。
	園内外研修	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修では、事例にもとづく課題解決の方法が紹介されたり園外研修会(保育士等キャリアアップ研修分野別)の内容が紹介されたりすることから、職員の意識改善や自己啓発に繋がっている。 △園外研修会(Eラーニング)への参加と、その園内研修での報告を継続することから、職員相互の保育内容を振り返る良い機会になり、職員のスキルアップに努める。
	情報	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担当や栄養士に係わりある各書類等が、適切に保管・処理・管理されている。また、園長による点検及び調整を行い、園長が管理している。 ・園専用PC8台及び、栄養ソフトを増設し、各帳簿の整理等の効率化を図っている。このことは、職員の負担軽減になっている。また、個人情報漏えい防止のため、PCの使用は園内で行うようにしている。
施設・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・更に、園生活を健康で安全にするために、除菌用設備や防犯カメラを増設した。 ・本園舎を土砂災害特別警戒区域指定に伴い、平成30年1月4日に、旧山川東部小学校跡地(わんぱく広場)に移転した。・新園舎(敷地面積 3,613 m²、延面積 975.68 m²) ・旧園舎(解体完了日：平成30年1月31日) 	

	評価項目	総評（意見・改善策）
保育計画を支える諸条件に関する評価	家庭・地域との連携	<p>△新型コロナウイルス感染拡大防止のため、高齢者施設慰問の中止が殆どだった。高齢者施設(あぐりの郷8月、やまびこ9月)等。</p> <p>△新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域行事の中止が殆どだった。地域行事(敬老祭9月、福祉フェスタ11月)等。</p> <p>※早く、新型コロナウイルス感染が終息し、年長児の普段から培っているダンスや鼓笛を披露し、多くの人たちに喜びと感動を与えられるようになることを期待している。</p> <p>※地域に年間行事計画を配布して、理解と協力を得られるように努めたい。また、地域の施設を活用した活動を行い「もの、こと、ひと」との交流を深め、地域との関わりを広げていきたい。</p>
	子育て支援の推進	<p>・平成27年度から、一時預かり保育事業を開始している。親元で出産する機会に、子どもを一時的に預かる傾向が高くなっている。</p> <p>△園行事への参加を呼びかけて、ふれあいの機会から子育ての支援を推進に努める。また、保護者の子育てに関する相談に応じ、不安を和らげるように努めている。</p>
	情報発信	<p>・ホームページの更新や内容の見直しを行いながら、園だより、クラスだより、給食だよりなどを毎月配布し、園の理念・方針・目標を周知し、共有している。</p> <p>・メール発信する際の重要文書については、個人情報保護のためメールロックに努めている。また、感染に伴う自宅待機指示等の緊急事態に対応するための園メールが効果を上げている。</p> <p>△保護者には、送迎時の連絡や連絡帳を通して、園児の園での様子を伝えるように努めている。</p>
給食に関する評価	衛生管理	<p>・衛生管理点検は、毎日の衛生チェックに努めている。特に、貯水槽清掃は、年1回業者が行い、水道水の塩素濃度は、園長が毎日2回実施している。</p> <p>・調理室、保育室、トイレ、手洗い場等では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、玩具、テーブル、椅子、床のアルコール消毒と清掃を重視し、適切に衛生管理を行っている。</p>
	調理内容	<p>・献立の内容や食の安全性を考慮して調理に当たっている。園児への給食は、適温での提供を心掛けている。</p> <p>・アレルギー除去食は、医療機関の食物アレルギー指示を基に、保護者やクラス担任との密な連携を取りながら調理している。</p> <p>△その日の献立給食を玄関に展示していたが、不衛生になるため止めている。</p>
	食育	<p>・菜園活動で収穫した新鮮な野菜(プチトマト、キュウリ等)を給食のデザートに利用している。</p> <p>・郷土料理(特産物)、伝統的な食を味わう献立を取り入れている。</p> <p>・以上児クラスでは、年に数回、クッキングを実施し、旬の食材を知る機会をつくり、食への関心を引き出す活動を行った。また、このことから、調理の楽しさ、作ってもらうことへの感謝の気持ちも育てたい。</p>
健康に関する評価	健康管理	<p>・園メールや園だより、クラスだよりで、新型コロナウイルス感染や発症しやすい病気について、予防・状況報告を行い、家庭の協力を得ている。</p> <p>・子どもの健康管理については、全職員が全クラス・全園児の健康状態の情報及び対応を、共有することから、感染症やアレルギーなどの適切な対応に努めている。</p> <p>・特に、アレルギー除去食については、医師、保護者、栄養士、担任との連携を密に行っている。</p> <p>・新型コロナウイルス等の感染症が発生した際、クラスの発生状況を、全職員が共有し、園メールで全保護者にその内容と対応を周知している。特に、新型コロナウイルス感染拡大予防には万全を尽くしている。</p> <p>・各クラスでの嘔吐物などの処理は、身近にいる保育士が、速やかに園児を遠ざけ、アルコール、次亜塩素酸等を使って適切に処理している。</p>
	事務管理	<p>・園用PCの活用で、事務処理を迅速に且つ適切に処理することで、職員の職務遂行の効率化に繋がっている。また、新たに栄養管理ソフトを購入した。</p> <p>・毎月の職員への給料、業者への支払等の業務は、IT化により効率的に処理している。また、ビジネスバンキングの活用を予定している。</p> <p>・社会福祉法人(資産の総額、理事長)変更は、令和3年6月22日に登記完了です。</p>
建設の評価	新園舎建設に向けての運営	<p>△園児は、広々とした園舎・園庭でのびのびとした気持ちで生活している。特に、室内(教室、廊下)での生活「静かにする」「歩く」等の基本的な生活習慣を身につけるように努めている。</p> <p>△更に、安全で快適な園生活ができるように、砂場に排便防止用カバーを設置した。また、園舎裏側に園庭を増設するように計画検討している。</p>

山川東部保育園における自己評価（令和2年度）

	評価項目	総 評（意見・改善策）
保育計画に関する評価	保育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育目標の設定については、子どもたちの年齢や発達状況、興味関心を踏まえた実態に沿った目標を設定している。また、計画・実践・評価・改善を行って、更なる充実を目指した設定になるように努めている。 ・保育目標の評価については、職員会議等で達成状況の確認や検討を重ねて、次年度に繋がるよりよい改善案を提案できるように努めている。 ・子ども一人ひとりの保育目標達成については、保育の過程と育ちの様子が捉えられるように、0歳児から5歳児までのそれぞれの過程で、発達を捉える視点を設定して、職員が育ちを系統的に捉えるように工夫している。
	保 育	<ul style="list-style-type: none"> ・未満児は、出来るだけ散歩や外遊びを多く取り入れ、体力向上を目指した。 ・以上児は、保育指針に基づいて遊びや運動を取り入れた活動をした。また、年中児と年長児では、体力向上及び遊びのルール、規律の大切さが、身につくように体育あそびを行っている。 ・年長児は、目標に向かって最後まで粘り強く努力することの大切さを学ぶ活動（ダンス、鼓笛）を取り入れた。 ・アクシデント報告も毎日報告し、毎月の集計と検証を行う。また、危険箇所については、点検と改善を行い安全安心な環境づくりに努めている。
	行 事	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の誕生会では、子どもたち全員で、クイズや楽しいダンス、劇などをして、子どもたち同士の楽しい顔見知りの場になっている。 ・敬老の日にちなんで、祖父母会を催し子どもたちの感謝の気持ちを込めた歌や踊りのプレゼント、共同作業、宝探しを行った。 ・勤労感謝の日にちなんで、市役所、農協、警察、郵便局に子どもたちの手作り「リース」を贈った。好評で今後も取り入れていきたい。 ・「あぐりの里」「やまびこ」等の高齢者施設の慰問を行った。
保育計画を支える諸条件に関する評価	体制・分掌	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の担当年齢クラスや職務内容毎に、リーダー等の役割を明確にしたことで、保育の充実や協働できる意識や体制が確立してきた。 ・早番及び延長保育時間帯を2名で担当する様にしているので、保護者対応や連絡調整が確保できている。また、その時間帯での園児の安全を守ることもできている。 <p>△分掌については、適材適所及び各クラスの負担軽減を考慮した取り組みを行い、更なる保育の充実と協働できる体制づくりに努める。</p>
	運 営	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議では、園長が中心に提案内容や時間配分を事前に検討する。司会は主任保育士が担当し、記録を毎月輪番制している。また、各種会議・給食会議・ケース会議も職員会議に含め効率的に実施し、その都度全職員が記録内容を閲覧し周知に努めている。
	年 齢 別・ クラス運営	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の交流や訪問を活発に行い、園児同士の関わりができていたので、今後も引き続き連携を深める。また、職員間の連携にも繋がっている。 <p>△年齢による子どもたちの特長を捉え、その各々の特長を生かしたクラス運営ができるよう保育士同士の意識の向上を図っている。</p>
	保 健 安 全 指 導	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士・栄養士等全ての保育者が、それぞれの専門性を発揮しながら、子どもたちに分かりやすい言葉で健康・安全の指導を行っている。 ・インフル等の感染症発生時には、保護者に対して連絡帳や園メールで、迅速に情報提供し、拡大防止に努めている。また、知り得た県・市の健康に関する情報も 速やかに提供している。 ・職員においては、職朝等で各クラスの情報を共有している。
	園内外研修	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議（園内研修）では、事例にもとづく課題解決の方法が紹介されたり、園外研修会（保育士等キャリアアップ研修分野別）の内容が紹介されたりすることから、職員の意識改善や自己啓発に繋がっている。 <p>△園外研修会（専門分野）への参加と、その園内研修での報告を継続することから、職員相互の保育内容を振り返る良い機会になり、職員のスキルアップに繋がっている。</p>
	情 報	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担当や栄養士に係わりある各書類等が、適切に保管・処理・管理されている。また、園長による点検及び調整を行い、園長が管理する。 ・園専用 PC を6台に増設し、各帳簿の整理等の効率化を図っている。このことは、職員の負担軽減になっている。また、個人情報漏えい防止のため、PCの使用は園内で行うようにしている。
	施設・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活を更に安全で快適にするために、ウッドデッキの角カバー、ロールテント、エコロックの設置をした。また、ホールや廊下に腰壁、ランチルームに引き戸の入口を設置した。 <p>・本園舎を土砂災害特別警戒区域指定に伴い、平成30年1月4日に、旧山川東部小学校跡地（わんぱく広場）に移転した。・新園舎（敷地面積 3,613 m²、延面積 975.68 m²） ・旧園舎（解体完了日：平成30年1月31日）</p>

	評価項目	総評（意見・改善策）
保育計画を支える諸条件に関する評価	家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設(あぐりの郷8月、やまびこ9月)の慰問を行い、歌やダンスを披露したり、肩たたきなどしたりして交流を深めた。高齢者の方は、園児の可愛らしい仕草に感動されていた。 ・地域行事(敬老祭9月、平家祭3月)のステージにおいて、年長児、年中児の普段から培っているダンスを披露し、多くの人たちに歓びと感動を得ていた。また、その時の園児の送迎は、保護者の協力で行った。 △地域に年間行事計画を配布して、理解と協力を得られるように努めたい。また、地域の施設を活用した活動を行い「もの、こと、ひと」との交流を深め、地域との関わりを広げていきたい。
	子育て支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度から、一時預かり保育事業を開始している。親元で出産する機会に、子どもを一時的に預かる傾向が高くなっている。 ・いろいろな園行事への参加を呼びかけて、ふれあいの機会から子育ての支援を推進する。 ・保護者の子育てに関する相談に応じ、不安を和らげるように努めている。
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新や内容の見直しを行いながら、園だより、クラスだより、給食だよりなどを毎月配布し、園の理念・方針・目標を周知し、共有している。 ・緊急事態に対応するための園メールが効果を上げている。 ・保護者には、送迎時の連絡や連絡帳を通して、園児の園での様子を伝えるように努めている。
給食に関する評価	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週(土曜日)に、給食室を中心にオゾン消毒散布を行っている。 ・衛生管理点検は、毎日の衛生チェックに努めている。特に、水道水(貯水)の塩素濃度は、毎日2回実施している。 ・調理室、ランチルームでは、嘔吐物等からの感染が無いように、テーブル、椅子、床の清掃を重視し、適切に衛生管理を行っている。
	調理内容	<ul style="list-style-type: none"> ・献立の内容や食の安全性を考慮して調理に当たっている。園児への給食は、適温での提供を心掛けている。 ・アレルギー除去食は、医療機関の食物アレルギー指示を基に、保護者やクラス担任との密な連携を取りながら調理している。 ・その日の献立給食を玄関に展示し、お迎え時の親子の会話に繋がっている。
	食育	<ul style="list-style-type: none"> ・以上児クラスは、ランチルームでの合同給食で、楽しい給食を行っている。 ・菜園活動で収穫した新鮮な野菜(プチトマト、キュウリ等)を給食のデザートに利用している。(今回は、収穫量が少なかった。) ・郷土料理(特産物)、伝統的な食を味わう献立を取り入れている。 ・以上児クラスでは、年に数回、クッキングを実施し、旬の食材を知る機会をつくり、食への関心を引き出す活動を行った。また、このことから、調理の楽しさ、作ってもらうことへの感謝の気持ちも育てたい。
健康に関する評価	健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、園メールや園だより、クラスだよりで、発症しやすい病気について、予防啓発・状況報告を行っている。 ・子どもの健康管理については、全職員が全クラス・全園児の健康状態の情報及び対応を、共有することから、感染症やアレルギーなどの適切な対応に努めている。 ・特に、アレルギー除去食については、医師、保護者、栄養士、担任との連携を密に行っている。 ・インフル等の感染症が発生した際、クラスの発生状況を、全職員が職朝で確認し、掲示、園メールで全保護者に周知している。特に、新型コロナウイルス感染拡大予防には万全を尽くす。 ・各クラスでの嘔吐物などの処理は、身近にいる保育士が、速やかに園児を遠ざけ、次亜塩素酸等を使って適切に処理している。
	事務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・園用PCの活用で、事務処理を迅速に且つ適切に処理することで、職員の職務遂行の効率化に繋がっている。 ・毎月の職員への給料、業者への支払等の業務は、IT化により効率的に処理している。 ・新園舎に関わる登記(所有権移転令2年2月12日)及び定款変更(令2年3月31日)は完了した。
建設の評価	新園舎建設に向けての運営	<ul style="list-style-type: none"> △園児は、広々とした園舎・園庭でのびのびとした気持ちで生活している。特に、室内(教室、廊下)での生活「静かにする」「歩く」等の基本的な生活習慣を身につけるように努めている。 △更に、快適な園生活が出来るように、腰壁や引き戸の設置等の改修等を進めている。また、園庭の遊具等についても、安全面と快適さを配慮して改善・改修に努める。

山川東部保育園における自己評価（令和元年度）

	評価項目	総 評（意見・改善策）
保育計画に関する評価	保育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育目標の設定については、子どもたちの年齢や発達状況、興味関心を踏まえた実態に沿った目標を設定している。また、計画・実践・評価・改善を行って、更なる充実を目指した設定になるように努めている。 ・保育目標の評価については、職員会議等で達成状況の確認や検討を重ねて、次年度に繋がるよりよい改善案を提案できるように努めている。 ・子ども一人ひとりの保育目標達成については、保育の過程と育ちの様子が捉えられるように、0歳児から5歳児までのそれぞれの過程で、発達を捉える視点を設定して、職員が育ちを系統的に捉えるように工夫している。
	保 育	<ul style="list-style-type: none"> ・未満児は、出来るだけ散歩や外遊びを多く取り入れ、体力向上を目指した。 ・以上児は、保育指針に基づいて遊びや運動を取り入れた活動をした。また、年中児と年長児では、体力向上及び遊びのルール、規律の大切さが、身につくように体育あそびを行っている。 ・年長児は、目標に向かって最後まで粘り強く努力することの大切さを学ぶ活動(ダンス、鼓笛)を取り入れた。 ・アクシデント報告も毎日報告し、毎月の集計と検証を行う。また、危険箇所については、点検と改善を行い安全安心な環境づくりに努めている。
	行 事	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の誕生会では、子どもたち全員で、クイズや楽しいダンス、劇などをして、子どもたち同士の楽しい顔見知りの場になっている。 ・敬老の日にちなんで、祖父母会を催し子どもたちの感謝の気持ちを込めた歌や踊りのプレゼント、共同作業、宝探しを行った。 ・勤労感謝の日にちなんで、市役所、農協、警察、郵便局に子どもたちの手作り「リース」を贈った。好評で今後も取り入れていきたい。 ・「あぐりの里」「やまびこ」等の高齢者施設の慰問を行った。
保育計画を支える諸条件に関する評価	体制・分掌	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の担当年齢クラスや職務内容毎に、リーダー等の役割を明確にしたことで、保育の充実や協働できる意識や体制が確立してきた。 ・早番及び延長保育時間帯を2名で担当する様にしているので、保護者対応や連絡調整が確保できている。また、その時間帯での園児の安全を守ることもできている。 <p>△分掌については、適材適所及び各クラスの負担軽減を考慮した取り組みを行い、更なる保育の充実と協働できる体制づくりに努める。</p>
	運 営	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議では、園長が中心に提案内容や時間配分を事前に検討する。司会は主任保育士が担当し、記録を毎月輪番制している。また、各種会議・給食会議・ケース会議も職員会議に含め効率的に実施し、その都度全職員が記録内容を閲覧し周知に努めている。
	年 齢 別・ クラス運営	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の交流や訪問を活発に行い、園児同士の関わりができていたので、今後も引き続き連携を深める。また、職員間の連携にも繋がっている。 <p>△年齢による子どもたちの特長を捉え、その各々の特長を生かしたクラス運営ができるよう保育士同士の意識の向上を図っている。</p>
	保 健 安 全 指 導	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士・栄養士等全ての保育者が、それぞれの専門性を発揮しながら、子どもたちに分かりやすい言葉で健康・安全の指導を行っている。 ・インフル等の感染症発生時には、保護者に対して連絡帳や園メールで、迅速に情報提供し、拡大防止に努めている。また、知り得た県・市の健康に関する情報も 速やかに提供している。 ・職員においては、職朝等で各クラスの情報を共有している。
	園内外研修	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議(園内研修)では、事例にもとづく課題解決の方法が紹介されたり、園外研修会(保育士等キャリアアップ研修分野別)の内容が紹介されたりすることから、職員の意識改善や自己啓発に繋がっている。 <p>△園外研修会(専門分野)への参加と、その園内研修での報告を継続することから、職員相互の保育内容を振り返る良い機会になり、職員のスキルアップに繋がっている。</p>
	情 報	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担当や栄養士に係わりある各書類等が、適切に保管・処理・管理されている。また、園長による点検及び調整を行い、園長が管理する。 ・園専用 PC を6台に増設し、各帳簿の整理等の効率化を図っている。このことは、職員の負担軽減になっている。また、個人情報漏えい防止のため、PCの使用は園内で行うようにしている。
	施設・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活を更に安全で快適にするために、ウッドデッキの角カバー、ロールテント、エコロックの設置をした。また、ホールや廊下に腰壁、ランチルームに引き戸の入口を設置した。 <p>・本園舎を土砂災害特別警戒区域指定に伴い、平成30年1月4日に、旧山川東部小学校跡地(わんぱく広場)に移転した。・新園舎(敷地面積 3,613 m²、延面積 975.68 m²) ・旧園舎(解体完了日：平成30年1月31日)</p>

	評価項目	総評（意見・改善策）
保育計画を支える諸条件に関する評価	家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設(あぐりの郷8月、やまびこ9月)の慰問を行い、歌やダンスを披露したり、肩たたきなどしたりして交流を深めた。高齢者の方は、園児の可愛らしい仕草に感動されていた。 ・地域行事(敬老祭9月、平家祭3月)のステージにおいて、年長児、年中児の普段から培っているダンスを披露し、多くの人たちに歓びと感動を得ていた。また、その時の園児の送迎は、保護者の協力で行った。 △地域に年間行事計画を配布して、理解と協力を得られるように努めたい。また、地域の施設を活用した活動を行い「もの、こと、ひと」との交流を深め、地域との関わりを広げていきたい。
	子育て支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度から、一時預かり保育事業を開始している。親元で出産する機会に、子どもを一時的に預かる傾向が高くなっている。 ・いろいろな園行事への参加を呼びかけて、ふれあいの機会から子育ての支援を推進する。 ・保護者の子育てに関する相談に応じ、不安を和らげるように努めている。
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新や内容の見直しを行いながら、園だより、クラスだより、給食だよりなどを毎月配布し、園の理念・方針・目標を周知し、共有している。 ・緊急事態に対応するための園メールが効果を上げている。 ・保護者には、送迎時の連絡や連絡帳を通して、園児の園での様子を伝えるように努めている。
給食に関する評価	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週(土曜日)に、給食室を中心にオゾン消毒散布を行っている。 ・衛生管理点検は、毎日の衛生チェックに努めている。特に、水道水(貯水)の塩素濃度は、毎日2回実施している。 ・調理室、ランチルームでは、嘔吐物等からの感染が無いように、テーブル、椅子、床の清掃を重視し、適切に衛生管理を行っている。
	調理内容	<ul style="list-style-type: none"> ・献立の内容や食の安全性を考慮して調理に当たっている。園児への給食は、適温での提供を心掛けている。 ・アレルギー除去食は、医療機関の食物アレルギー指示を基に、保護者やクラス担任との密な連携を取りながら調理している。 ・その日の献立給食を玄関に展示し、お迎え時の親子の会話に繋がっている。
	食育	<ul style="list-style-type: none"> ・以上児クラスは、ランチルームでの合同給食で、楽しい給食を行っている。 ・菜園活動で収穫した新鮮な野菜(プチトマト、キュウリ等)を給食のデザートに利用している。(今回は、収穫量が少なかった。) ・郷土料理(特産物)、伝統的な食を味わう献立を取り入れている。 ・以上児クラスでは、年に数回、クッキングを実施し、旬の食材を知る機会をつくり、食への関心を引き出す活動を行った。また、このことから、調理の楽しさ、作ってもらうことへの感謝の気持ちも育てたい。
健康に関する評価	健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、園メールや園だより、クラスだよりで、発症しやすい病気について、予防啓発・状況報告を行っている。 ・子どもの健康管理については、全職員が全クラス・全園児の健康状態の情報及び対応を、共有することから、感染症やアレルギーなどの適切な対応に努めている。 ・特に、アレルギー除去食については、医師、保護者、栄養士、担任との連携を密に行っている。 ・インフル等の感染症が発生した際、クラスの発生状況を、全職員が職朝で確認し、掲示、園メールで全保護者に周知している。特に、新型コロナウイルス感染拡大予防には万全を尽くす。 ・各クラスでの嘔吐物などの処理は、身近にいる保育士が、速やかに園児を遠ざけ、次亜塩素酸等を使って適切に処理している。
	事務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・園用PCの活用で、事務処理を迅速に且つ適切に処理することで、職員の職務遂行の効率化に繋がっている。 ・毎月の職員への給料、業者への支払等の業務は、IT化により効率的に処理している。 ・新園舎に関わる登記(所有権移転令2年2月12日)及び定款変更(令2年3月31日)は完了した。
建設の評価	新園舎建設に向けての運営	<ul style="list-style-type: none"> △園児は、広々とした園舎・園庭でのびのびとした気持ちで生活している。特に、室内(教室、廊下)での生活「静かにする」「歩く」等の基本的な生活習慣を身につけるように努めている。 △更に、快適な園生活が出来るように、腰壁や引き戸の設置等の改修等を進めている。また、園庭の遊具等についても、安全面と快適さを配慮して改善・改修に努める。

山川東部保育園における自己評価（平成29年度）

	評価項目	総 評（意見・改善策）
保育計画に関する評価	保育目標	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議(園内研修)での活発な意見交換により意識改善・自己啓発に繋がってきている。目標設定については、子どもの年齢や発達状況を踏まえて設定し、保育計画に沿って進められるように、評価・反省を実施し子どもたちの発達や興味にあった保育計画を、柔軟に立案している。
	保 育	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議(園内研修)で学んだ研修内容を積極的に保育に生かし、子どもを主体に興味・関心を持つ保育を取り入れ、一緒に楽しめるようにした。 アクシデント報告も毎日報告し、毎月、集計と検証をしながら、危険箇所について、安全安心な環境づくりを行っている。 未満児は出来るだけ散歩や外遊びを多く取り入れ、以上児クラスでは、保育指針に基づいて遊びを計画して、目標設定しながら活動した。 以上児クラス(特に、年長、年中)は、目標に向かって努力することの大切さを学ぶ活動を多く取り入れた。
	行 事	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の誕生会では、子どもたち全員で、クイズや楽しいダンス、劇などをして、子どもたち同士の楽しい顔見知りの場になっている。また、敬老の日になんで祖父母会を催し、子どもたちの感謝の気持ちを込めた歌や踊りのプレゼント、共同作業、宝探しを行った。勤労感謝の日になんで、子どもたち手作りの「子どもたちが描いた絵」を贈った。好評で今後も取り入れていきたい。
保育計画を支える諸条件に関する評価	体制・分掌	<ul style="list-style-type: none"> 遅番・早番・早2・バス・遅2のローテーション及びローテーションに伴う係分担任は、職員の意見や評価・反省を取り入れて、早番及び延長保育時間帯を2名で担当する様にした。各クラスの負担軽減や日時・時間にも余裕を持って取り組めるように見直しを行い、保育の充実や協働できる意識・体制が確立してきた。
	運 営	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議では、園長が中心に提案内容や時間配分を事前に検討する。司会は主任保育士が担当し、記録を毎月輪番制している。また、各種会議・給食会議・ケース会議も職員会議に含め効率的に実施し、その都度全職員が記録内容を閲覧し周知に努めている。
	年 齢 別・ クラス運営	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢の交流や訪問を活発に行い、子ども同士の関わりが出来ているので今後も引き続き連携を深めていく。また、職員間の連携にも繋がっている。 新任教育として、連絡ノートや保育記録のエピソード記述は、クラス担当者や主任保育士が指導しながら今後も研鑽を深めていく。 年齢による子どもたちの特長を捉え、その特長を生かしたクラス運営ができるよう保育士間で確認を行った。
	保 健 安 全 指 導	<ul style="list-style-type: none"> 保育士・栄養士等全ての保育者が、それぞれの専門性を発揮しながら、子どもたちに分かりやすい言葉で健康・安全の指導を行っている。 感染症発生時には、保護者に対して迅速に情報提供し、拡散拡大防止に努めた。また、県・市の健診情報を提示し啓発を行っている。 職員間における各クラスのスムーズな情報共有に努めている。
	園内外研修	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議(園内研修)では、事例にもとづく課題解決の方法が紹介されたり、園外研修会(一般)の内容が紹介されたりで、職員の意識改善・自己啓発に繋がってきている。 △園外研修会(専門分野)を重ねることで、自分の保育を振り返る良い機会となりスキルアップに繋がると考える。
	情 報	<ul style="list-style-type: none"> クラス担当や栄養士は、各帳簿、書類等が適切に保管・処理・管理されている、園長がチェックし最終的に管理している。 園専用 PC を3台増設し、各帳簿の整理当の効率化を図っている。個人情報漏えい防止のため、PCの使用は園内で行うようにしている。
	施設・整備	<ul style="list-style-type: none"> 本園舎を土砂災害特別警戒区域指定に伴い、平成30年1月4日に、旧山川東部小学校跡地(わんぱく広場)に移転した。 新園舎(敷地面積 3,613 m²、延面積 975.68 m²) 旧園舎(解体完了日：平成30年1月31日)

	評価項目	総評（意見・改善策）
保育計画を支える諸条件に関する評価	家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区内(九折)の老人クラブ主催の七夕まつりに園児(年中組)が参加し、短冊の書き方を教わったり、素麺流しを体験したり、七夕の歌を歌ったりした。地元の高齢者や子どもたちとのふれ合う姿が楽しそうだった。 ・高齢者施設(あぐりの郷8月、やまびこ9月)の慰問を行い、歌やダンスを披露したり、肩たたきなどしたりして交流を深めた。高齢者の方は、子どもたちの可愛らしい仕草に感動されていた。 <p>△移転間近なので、年間行事計画を地域に配布して、理解と協力を得られるように努めたい。また、地域の施設を活用した散歩を行い「もの、こと、ひと」との交流を深め、地域との関わりを広げていきたい。</p>
	子育て支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度から、一時預かり保育事業を開始している。親元で出産する機会に、子どもを一時的に預かるケースが多くなっている。 ・いろいろな園行事への参加を呼びかけて、ふれあいの機会から子育ての支援を推進する。 ・保護者の子育てに関する相談に応じ、不安を和らげるように努めている。
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新や内容の見直しを行いながら、園だより、クラスだより、給食だよりなどを毎月配布し、園の理念・方針・目標を周知し、共有している。 ・緊急事態に対応するための園メールが効果を上げている。 ・送迎時や連絡ノートを活用し、子どもの園での様子を伝えるように努めている。
給食に関する評価	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週(土曜日)に、給食室を中心にオゾン消毒散布を行っている。 ・衛生管理点検、毎日の衛生チェックに努めている。特に、井戸水の塩素濃度は、毎日2回実施している。 ・調理室、ランチルームでは、嘔吐物等からの感染が無いように、テーブル、椅子、床の清掃を重視し、適切に衛生管理を行っている。
	調理内容	<ul style="list-style-type: none"> ・献立の内容や食の安全性を考慮して調理に当たり、保温状態に気をつけ、子どもたちに適温での提供を心掛けている。 ・アレルギー除去食は、医療機関の食物アレルギー指示を基に、保護者やクラス担任との密な連携を取りながら調理している。 ・その日の献立給食を玄関に披露し、お迎え時の親子の会話に繋がっている。
	食育	<ul style="list-style-type: none"> ・以上児クラスは、ランチルームでの合同給食やお楽しみデザートを誕生会で試み楽しい食育に繋がりが子どもたちにも人気がある。 ・菜園活動で収穫した新鮮な野菜(プチトマト、キュウリ等)を給食のデザートに利用している。 ・郷土料理(特産物)、伝統的な食を味わう献立を取り入れている。 ・以上児クラスでは、年に数回、クッキングを実施し、旬の食材を知る機会をつくり、食への興味を引き出す活動を行った。また、このことから、作ることの楽しさ、作ってもらうことへの感謝の気持ちも育てたい。
健康に関する評価	健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、園メールや園だより、クラスだよりで、情報提供や発症しやすい病気について、予防啓発・状況報告を行っている。 ・子どもの健康管理については、全職員が全クラス・全園児の健康状態の情報を、共有することで、感染症やアレルギーなどの適切な対応に努めている。 ・特に、アレルギー除去食については、医師、保護者、栄養士、担任との連携を密に行っている。 ・感染症が発生した際、クラスの発生状況を、全職員が朝の連絡会で確認し、園メールで全保護者に知らせている。 ・各クラスでの嘔吐物などの処理は、近隣の保育士が、速やかに子どもたちを遠ざけ、次亜塩素酸等を活用して適切に処理している。
	事務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・事務処理を迅速に処理するだけに限らず、保護者対応や保育の援助を行うことで、職員の一員としての立場を配慮しながら努めている。 ・建設に関わる文書、会計等が適切に遂行されるように努めた。また、定款変更申請や登記が適切に遂行されるように、準備を急いでいる。
建設の評価	新園舎建設に向けての運営	<p>△新園舎の床面積は、旧園舎の2倍以上の面積になった。園児は、のびのびとした気持ちになり落ち着かない生活になりがちである。室内(教室、廊下)での生活に制限が必要になる。教室や廊下では、「静かにする」「歩く」などの生活習慣を身につける必要がある。</p>